

2012年
新年号

~ 加戸病院通信 第41号 ~



ハンド イン ハンド hand in hand



医療法人弘友会 加戸病院

〒791-3301 愛媛県喜多郡内子町内子771番地 TEL:0893-44-5500 FAX:0893-44-3300

E-mail: koyukai@kato-hp.jp

URL: <http://kato-hp.jp/>



~ 年頭のご挨拶 ~

『あけまして
おめでとうございます』



医療法人弘友会 副理事長
加戸病院 院長
外科・肛門科医長

加戸 秀一

あけましておめでとうございます。

昨年日本は未曾有の大災害にみまわれ、その影響から新加戸病院の建設も遅れるのではないかと危惧されましたが、皆様のご協力のもとに無事に新築移転を終えることができました。

また、移転と同時にオーダリングシステムの導入もあり、被災者の皆さんに比べると僅かではありますが、弘友会スタッフには大変なストレスがかかった一年でした。

昨年末、ブータンのワンチュク国王夫妻が新婚旅行に日本を選ばれました。国王陛下の国

会演説や国王陛下主催の慰霊祭も素晴らしいものでしたが、最も印象に残ったのが被災地の子供たちへのお言葉でした。被災地の子供たちに国王が「君たちは龍を見たことがあるかい？僕は見たことがある。龍は心の中にいるんだ！そして経験を糧に大きく育つ。きっと君たちの中の龍は大きく育っているはずだ。」と声をかけられたのをテレビで拝見し非常に感動しました。

昨年の経験を糧に弘友会のスタッフ、日本中の人々の心の中に大きな龍が育ち、辰年の今年には力強く飛翔していくことを願っております。

『加戸病院は 内子町へ移転しました』



医療法人弘友会 理事長
加戸 弘二

新年おめでとうございます。

昨年 11 月医療法人弘友会加戸病院は大洲市から内子町へ移転しました。加戸病院は昭和 47 年(1972 年)大洲市若宮で加戸外科病院として開院し昭和 51 年医療法人弘友会加戸病院へと名称と組織を変更しました。その後当初の 32 床から 2 回の増床で昭和 59 年には 98 床となりました。これまで増改築を繰り返してきましたが、これ以上の増築は都市計画法による規制その他の事情で不可能な状況でした。また、医療や介護に求められるニーズは年々高まり、移転新築は必須の状況でした。

このような時、平成 20 年内子町の喜多医師会立内山病院が廃院となったことから、14,000 筆を超える署名を添えた内子町民および内子町からの強い病院移転要請を受けました。慎重に検討しましたが、98 床から 88 床への減床を求められることや老健フレンドとの連携が不便になることなどのデメリットがあり、経営上の自信が持てず移転計画を断念しました。ところが翌 21 年の補正予算で救急病院耐震化交付金という追い風があり、再度内子町より病院移転要請を受けました。JR 内子駅近くという立地条件の良い用地の提供などのご支援をいただくこととなり、21 年 11 月内子町との共同記者会見で内子町への病院移転を発表しました。引き続き内子町による用地取得と造成工事が進み、平成 22 年 12 月建築工事に着手し、昨年 10 月竣工の運びとなりました。

竣工にあたりこれまで内子町をはじめとす

る関係者の皆様の多大なご支援ご協力をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。またこれまで大洲の加戸病院を支えていただきました皆様にも厚く御礼申し上げます。

加戸病院は良質で安全な医療サービスの提供をその使命としています。内子町からのご支援もあり、新しい医療機器その他の設備やシステムを整備することができました。

また地球環境に優しい建物をとの考えから外断熱構造や二重窓、ソーラー給湯などの省エネ設備を採用しました。エコロジータウン内子にふさわしい建物でもあると考えます。その他新病院建築のポリシーとしては、ご利用者には快適でゆとりのある療養環境の提供を、職員には働きやすい構造設備をと考え、建物作りを進めました。

また職員確保と少子化対策の一助になればとの願いから院内保育所を設置しました。さらに昨年 4 月看護学生への奨学金制度を創設しました。加戸病院グループの第一の理念は医療・保健・福祉を通じて地域社会に貢献することです。

移転後も救急輪番病院としての役割を果たすとともに、地域の医療機関との連携を強めていきたいと存じます。地域の皆様のお役に立つ、利用者本位の病院を目指して職員一丸になって努力する所存です。

今後ともご支援ご指導いただきますようお願いいたします。新春にあたり皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。



待合ホール（受付）

待合ホール（診察室前）



診察室



MRI室



手術室



リハビリ室



リハビリテラス



特室B



特室A



病室



特殊浴室

加戸病院内子町移転新築竣工記念行事「狂言」(H23.11.5)

平成23年11月5日、加戸病院内子町新築竣工を記念して、内子座で茂山家による狂言公演「笑門来福」を行ないました。小雨の降る中、午前中は無料で地元小学生と保護者100名に、午後からは一般の方々450名に日本の伝統芸能の1つである狂言に親しんでいただきました。午後のチケット代は全て東日本大震災の義援金として、日本赤十字社に寄付しました。その50万円が、今なお不自由な思いをされている被災者の方々のお役に立てればと思います。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

そして、翌日の11月6日には、「竣工式の集い」と題して、神事、祝賀会、内覧会を執り行いました。午後からは地域の方々に病院の設備やシステムをご覧いただき、また初めての地域の方との交流として「もちまき」も無事終わることができ、皆様のご協力に感謝しています。

この度、内子町からの強い要請、そして、内子町民の皆様からたくさんの署名をいただき、加戸病院は大洲市から内子町へ移転開設することになりました。

今回、記念公演が行われた内子座は、大正5年に創建され、老朽化により取り壊されようとしていたところを町民の熱心な取り組みにより復元されました。

このような内子という、趣の深く、熱意の強い地で、医療に携われるという事は非常にありがたいことだと改めて感じています。

(記：弘友会理事 加戸英利子)



午前

演目：^{かぎゅう}「蝸牛」、^{ぶす}「附子」

午後

演目：^{みずかけむこ}「水掛髻」、^{ちどり}「千鳥」、^{かみなり}「神鳴」

加戸病院内子町移転新築竣工式(H23.11.6)



神事



テープカット

右から 稲本町長、新企画設計 林社長、
加戸理事長、下田副院長、加戸前知事



加戸院長



竣工式



餅まき(お子様にはお菓子まき)には、約 600 名の方に参加いただきました



*** 加戸病院竣工記念学生狂言会 ***

(内子小学校の生徒さんの作文を紹介させていただきます)

「狂言を鑑賞して」

【6年雪組 西原京介】

ぼくは、初めて狂言を見ました。もっと難しくて、分かりにくいと思っていたのに、言葉と動きで内容がよく分かり、びっくりしました。一番すごいと思ったのは、独特の動きとしゃべり方です。このような決まった動きやしゃべり方があるから、こんなおもしろい狂言がずっと続いているんだなあと思いました。

「か牛」では、かたつむり(山伏)につられて、他の人が踊り出すところが、まぬけでとてもおもしろかったです。「ぶす」は、食べてしまった事をごまかすために、他の物をこわしてしまうところが、心に残っています。狂言を見せてくださって、ありがとうございました。



【6年雪組 清水海里】

ぼくは、狂言のことは、国語の教科書で見たり聞いたりしたくらいで、難しそうだなと思っていたけれど、実際に見てみると、劇のストーリーがよく分かり、思ったよりおもしろかったです。特に「ぶす」の話が心に残りました。全部食べてしまったのを、うまくごまかしているなあと感心しました。

前に子どもを出して、動き方や話し方を実際に教えて下さったので、狂言のことがよく分かったのがよかったです。このような、日本の伝統文化がいつまでも残っていてほしいです。また機会があれば、狂言を見てみたいです。いい機会をつくって下さってありがとうございました。



《 栄養だより 》

便秘予防献立

加戸病院栄養科

管理栄養士 駿河 モモ

患者さんの多くは慣れない入院生活のためか、今までの生活に比べ活動量が制限され、便秘になられる方が多いように感じられます。そこで今回はH23年11月に実施した便秘予防献立をテーマに選びました。

それぞれの献立のポイントは以下の通りです。便秘で悩まれている読者の方はぜひ参考にしてみてください。



《便秘予防献立》

- ・ 麦入りわかめご飯
- ・ 椎茸の肉詰め

麦入りわかめご飯

便秘解消の原則は食物繊維を摂ることです。

麦、わかめを入れることにより食物繊維の量をUPさせました。

椎茸の肉詰め

椎茸はきのこ類の中でも特に食物繊維を多く含みます。

栄養も豊富な旬の食材を入れました。

いもたき

里芋は食物繊維が豊富なことはもちろん、里芋のぬめり成分には整腸作用があります。

柿生酢

お酢には新陳代謝を高め、少量のお酢は腸を刺激し、便秘を改善します。

カルピスゼリー

カルピスには整腸作用のある乳酸菌が含まれています。

また、今回のゼリーにははちみつが入っており、便を軟らかくする作用があります。

ご注意 症状によっては食物繊維を積極的に摂らない方が良い場合もあります。

治療法については医師の判断に従って下さい。

加戸病院は昨年11月に内子町へ移転することができました。

私たちは入院患者さんの楽しみの一つとして食事があるのではないかと考えています。本年も地域に根ざし、患者さんに満足いただけるような食事の提供に努めて参りたいと思います。



外来担当医



平成24年1月1日より
外来担当医が変更になりました！

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	平澤 片岡		小泉	平澤	平澤	入田 谷川または淡野
	午後 14:00~15:00	片岡		小泉			
外科	午前	下田	下田	下田	加戸	加戸	(隔週) 加戸または下田
	午後 16:30~17:00	下田	加戸 16:00~ (手術の時は変更)	加戸	下田	加戸 16:00~	
整形外科	午前	城戸	柴田	城戸	城戸	城戸	柴田
	午後 16:00~	城戸	柴田 14:00~15:00	加戸	下田	加戸 16:00~	
脳神経外科	午後				穴戸		

谷川Dr・淡野Drは睡眠外来専門です。

注)手術などのため、変更になる場合があります。

外来診療

診療科目	内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・外科・消化器外科・ 肛門外科・整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科	
受付時間	午前 8:30 ~ 11:30	午後 1:30 ~ 4:30
診療時間	午前 9:00 ~ 12:30	午後 2:00 ~ 5:00
休診日	土曜日午後・日曜・祝日	

- * 緊急の患者さんは昼休みも診療いたします。
- * 水曜日は午前 8:30 より 24 時間輪番制救急診療です。
- * 予約制 (予約のない方も診察いたします。)
- * 初診・再診の電話予約受付は、月曜～金曜日の午前 8:30～午後 5:00 です。
土曜日は午前 8:30～12:00 です。